



道の友

Toyama Council Scout Association of Japan

2025.1/72 号

since 1975・10



The Friends News

日本ボーイスカウト富山県連盟
富山市舟橋北町7-1 ☎076-432-6505
E-mail: bstoyama@p1.coralnet.or.jp
http://www.bstoyama.org

地域と共に歩み、社会課題の解決に貢献するスカウティングを目指して

(公財) ボーイスカウト日本連盟 副総コミッショナー **木村 寿宏**



新年あけましておめでとうございます。令和7年の初春を富山県連盟の皆様とともに迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。また、この度は新春のこの時期に皆様に御挨拶できる機会をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

私と富山県連盟の皆様との出会いは、令和2年10月の団委員長会同で講演をさせていただいたことに始まります。その後、令和4年、5年とワクワク自然体験あそびの視察等でお邪魔をさせていただきました。そのご縁もあり、去年は7月に団委員研修所富山第11期の所長としてお声をかけていただきました。ですので、一方的ではありますが、私としてはとても富山の皆様には親近感を感じております。

さて、私には「この運動に関わった青少年は必ず幸福な人生歩むことができる。そして、この運動に関わる人が増えれば必ずこの世界はより良くなる」という信念があります。だからこそ、加盟員を一人でも多く増やしたいと強く思っています。残念ながら、昭和58年をピークに加盟員数は減り続けています。そのせいか、スカウティングそのものが内向きになっていないでしょうか。スカウティングは地域に根差すことなくして存在し得ないはずで、この運動に関わる全ての成人は、地域社会の一員として、山積する社会課題の解決に自ら貢献しようとする青少年を育てるのだという強い意志を持たなければなりません。これこそが、スカウティングの価値であり、スカウトが幸福な人生を歩むことそのものだと考えているからです。

引き続き、この国のスカウティングの発展のために、そして、なによりもスカウト一人ひとりが幸福な人生を歩めるよう皆様のお力添えをお願いさせていただきまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



TRK は富山県出身もしくは在住の 18 歳から 26 歳のローバースカウト及び同年代指導者で構成されています。令和 6 年度は 25 名が活動しています。月 1 回の定例会や、ローバースカウトセミナー、県連事業奉仕など様々な活動を行っています。

一緒に活動する新しい仲間を募集しています。地域の結束を強め、共に成長する機会を提供するため、ぜひご参加ください！

◇ 令和 6 年度能登半島地震災害ボランティア

【活動日】令和 6 年 3 月 30 日(土)、31 日(日)、4 月 29 日(月)、11 月 3 日(日)、16 日(土)

【場所】石川県珠洲市

【概要】令和 6 年 1 月元日に発生した能登半島地震と 9 月末に発生した豪雨災害のボランティア活動に TRK として 8 名が参加しました。

【活動内容】(地震) 家財の運び出し・ブロック塀や落下した瓦、砂などの回収・清掃、仮置き場までの運搬

(水害) 家財の運び出し・仕分け・床上泥の掻き出し、回収、清掃、仮置き場までの運搬

【感想】被災者の方々がコミュニケーションを取るにつれて明るくなってくることが何よりも嬉しかったです。倒壊した家屋が残っており、道路の整備がされていない場所も多く、まだまだ人手が必要だと感じています。(富山第 10 団・高野 悠)



◇ 日本ローバームート 2024

【日時】令和 6 年 9 月 3 日(火)～8 日(日)

【場所】日本連盟那須野営場

【参加人数】富山県内からの参加者:4 名

【概要】日本ローバームート 2024 は、ローバースカウトが企画、運営する野営大会で、韓国、台湾、香港、マレーシアの海外スカウトを含む約 300 名のローバースカウトが参加しました。プログラムは、野外料理、野営場整備、ウッドクラフト、スカウト技能を活用した運動会、感情表現、防災・減災、リーダーシップなどのワークショップ。日光観光、キャニオニング、パラグライダーなど多種多様な活動が展開されました。

【感想】日本ローバームート 2024 にスタッフとして参加しました。大会の運営に携わるのは初めてでしたが、運営の難しさや楽しさを学び、全国に仲間がいることを改めて実感しました。(南砺第 3 団・花当祐郁)

ローバースカウトになって初めての全国規模のイベントでしたが、新しい仲間だけでなく、世界ジャンボリーで一緒だった仲間にも出会うことができ、とても充実感のある一週間を過ごすことができました。(高岡第 21 団・北村 旭)



“カッコいい指導者(おとな)になろう”

第25回全国スカウトフォーラム

令和6年11月2日(土)から4日(日)の3日間、第25回全国スカウトフォーラムが兵庫県加東市の嬉野台生涯教育センターを会場に開催されました。

全国から73名が参加し、ベンチャースカウトだからこそできる“未来につながる地域貢献活動”をテーマに議論が繰り広げられました。

富山県連盟の代表として参加した2名のスカウトからの体験談を紹介します。

全国フォーラムに参加して

富山第10団VS 鈴木 瑛太

フォーラムの中で全国のスカウトと地域の問題について話し合っていると、出てくる悩み事が地域によって全く異なり、今までは考えもしなかったことに目を向けられるようになりました。考え方の違いでうまく意見がまとまらないときもありましたが、全国の仲間と一つの目標に向かって協力して取り組んだ時間は、とても楽しかったです。また、今回のフォーラムでは多くの仲間ができました。

県が離れていて簡単には会えないスカウトもありますが、機会があればまた全員で集まって活動をしてみたいです。



全国フォーラムに参加して

射水第3団VS 中村 惺

グループのみんなと同じ課題について向き合ったことで、より良い地域社会にしていきたいという気持ちが高まり、より深く議論をすることができました。

討論を通して、自分だけでは見えなかった考え方や疑問の発見、同年代の仲間と討論する楽しさを知ることができ、とても有意義に時間を過ごすことができました。また、たくさんの時間を仲間と共に過ごしたことで、深い繋がりや思い出を残すいい経験になりました。いつか機会があったら、もう一度みんなに会いたいです。



◇ エンジョイ スカウトキャンプ

県内の指導者、ローバースカウト及びスカウト活動に興味のある団関係者を対象とした大人のスカウトキャンプを令和6年9月28(土)、29日(日)に呉羽青少年自然の家で実施しました。このような取り組みは十数年続いていましたが、コロナ禍では中止に追い込まれ、昨年より形式を変更し復活開催しました。今回はスタッフ含め30名の参加があり、両日通して大いに盛り上がりました。

活動の内容は、一般的なスカウトキャンプと同じく、キャンプサイト設営、夕食調理、キャンプファイヤー、懇親会、ハイキングを行いました。普段は交わることが無い方々と班に分かれて作業を行います。知識や情報など色んな方々から出てくるので、作業も楽しくできておりました。作業を手分け分担し、設営後にまったりする班や、普段とは異なる立ちかまどの設置を試す班など、班メンバーにより班のカラーをみることが出来ました。



テントサイトの設営



立ちかまどで班炊事

キャンプファイヤーでは着火前のトーチに火が着かないトラブルもありましたが、振り付きのソングや、スタンツ(演劇)など各隊に持ち帰り実践できる演目が多く、楽しいひとときでした。懇親会では、TRK(富山ローバースカウトの会)との交流や各隊での活動についての情報交換など、今後のスカウト活動を推進していく上での楽しく濃い時間となりました。翌日のハイキングでは、班ごとにポイントを回るハイクでしたが、移動は追跡記号を頼りにし、ポイントではビーバー、カブでも楽しめる課題がセットされました。あるポイントでは自分たちのサイトを撤営する課題もあり、一仕事もゲーム感覚で取り組むことが出来ました。甘味処ポイントではくじ引きで数の増減も。楽しみながらゴールすることが出来ました。今回特別に表彰缶バッジを制作し、ハイクの成績に応じて表彰されました。興味のある方は、隊指導者に聞いてみてください。

タイトルの通り、スカウトキャンプを楽しみながら視点を変えた手法で実践することができ、参加してくれた皆さんも楽しいひとときを過ごされたのではないかと思います。参加者アンケートにおいて、次年度以降も続けて欲しい。との要望が多く、スタッフ一同感謝しております。次年度も続く？時はより多くの参加を願っております。参加者を増やす方法としては、口コミが有効とのことなので、未参加指導者への声掛け、参加をお待ちしております。



第66回ボーイスカウト富山県大会

令和6年5月19日(日)、射水市の県民公園太閤山ランドを会場に開催されました。県下22こ団から685名のスカウト・指導者が参加し、広島県教育長（県副連盟長）を迎え、式典が行われました。また、式典終了後は太閤山ランド内で、一般参加の方も交えてビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊の祭典がそれぞれ行われました。



ボーイ隊の「ナンバー1 パトロール」で1位の表彰を受けた射水第3団カモメ班班長の感想をご紹介します。

富山県大会で射水第3団カモメ班はパトロール競技で優勝しました。

パトロール競技は、地図を見て目的地に何があるか見つけ、班旗立て、歩測、追跡記号をしました。カモメ班のスカウトは小学生と中学生のメンバーで活動しています。旗揚げはみんなした事がなかったので、大会の前に班で練習しました。

最初はうまくいかなかったけどみんなで話あって工夫して練習しました。県大会本番ではみんな緊張していましたが、大丈夫だと励まし合い僕は緊張がほぐれていきました。本番は結果がでて喜びを分かち合い大変うれしかったです。

今回の経験からみんなで力を合わせて違う活動などにも活かしていきたいです。

射水第3団カモメ班 班長 藤岡悠太



◇ 団委員研修所富山第11期

令和6年7月13日(土)から15日(月)の3日間、砺波青少年自然の家を会場に、日連の木村寿宏副総コミッショナーを所長にお招きし、団委員研修所富山第11期が開設され、8名の方が修了されました。参加された方からの感想をご紹介します。

団委員研修に参加して 富山第16団 団委員長 豊口 治

7月13日から2泊3日で団委員研修に参加しました。富山県連盟から5名、新潟県連盟から3名の参加があり、2グループ編成で研修をしました。この研修では、団の指導者としての役務を理解し、団の管理と運営能力を高めることを目的とされています。日々のセッションを通じて、新しく知ることや改めて感じる事が多くありました。そしてグループ内のメンバーと考え、話し合い、色々なことを共有しながら楽しく学ぶことができました。また自分自身の課題も明確になってきました。これからも自団の指導者やスカウト達が、元気に楽しく安全に活動ができるようにサポートしていきたいと思います。木村所長をはじめトレーナーの方々のご尽力に感謝を申し上げます。



INFORMATION

■ 次回のボーイスカウト講習会 ■

日 時	令和7年3月23日（日）9時30分～17時	会 場	呉羽青少年自然の家
主任講師	長守 崇 L T	参加費	3,000円（教材・食事代）

★★ 令和6年度表彰に輝く人々★★

令和6年度ボーイスカウト関係の次の方々が表彰されました。
心からお祝いを申し上げ、今後ますますのご活躍と当運動へのご支援をいただきたいと思います。

◎社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）	松谷 英真（理事長・上市1）
◎富山県功労者表彰	山本 広志（理事・富山10）
◎富山県教育功労者表彰	橋本 峰子（県副コミッショナー・高岡11）
◎富山県社会教育功労者表彰	田中 景子（理事・富山17）
◎日本連盟 たか章	小原 勉（副理事長・南砺1）
◎日本連盟 かつこう章	大野 聡一（副連盟長・魚津2）
◎日本連盟 褒状	笠島 博昭（富山10・ビーバー隊長）
◎日本連盟特別年功章50年章	福山 暁人（富山17） 川田 啓雄（南砺1） 岡村 俊一（南砺1）

■ 令和7年度 指導者養成事業 ■

【定型訓練】

◇ボーイスカウト講習会（2回）

開設名	開設月日	会 場	主任講師
R7-1	9/7（日）	呉羽青少年自然の家	大坪 喜世美 L T
R7-2	3/15（日）	砺波青少年自然の家	長守 崇 L T

◇ウッドバッジ研修所スカウトコース富山第3期（新潟連盟・福井連盟・長野県連盟合同開設）

開設月日	場 所	所 長
5/3（土）～6（火）	呉羽青少年自然の家	酒井 一成 A L T（福井連盟）

◇ウッドバッジ研修所課程別研修

課 程	開設月日	場 所
カブスカウト課程・ボースカウト課程	6/29（日）	砺波青少年自然の家

■ 第67回ボーイスカウト富山県大会 ■

【テ ー マ】	スカウトランド2025
【開 催 日】	令和7年6月8日（日） 準備：令和7年6月7日（土）
【開催場所】	県民公園 太閤山ランド
【参 加 章】	大会缶バッジ
【祭 典】	
<ビーバースカウト部門>	[トトロの森] いきいきひろば・ふるさとパレス
<カブスカウト部門>	[ジャングル・カブブック] ふるさとパレス横とその周辺
<ボーイスカウト部門>	[シン No.1 Patrol 2025] ふるさとパレス前芝生広場・せせらぎの道
<ベンチャースカウト部門>	[Check your Scout Skill] 呉羽青少年自然の家 野営場サイト
【スカウト顕彰】	「スカウト顕彰」を行い、伝達は式典後にスカウトにお渡しします。 申請書にて、令和7年3月28日（金）まで県連事務局へ提出して下さい。今回も会場内に掲示ボードを設け、顕彰スカウトを紹介します。 スカウトの活動中の写真データ は隊長よりメールで県連事務局へお送り下さい。
【販売コーナー】	スカウト用品等の販売コーナーは販売品が揃わないので設けません。
※BVS・CS・BSの祭典プログラムの詳細については、4月13日（日）午前中に県教育文化会館で行なう県大会参加隊長会議でご説明いたします。VSの祭典プログラムについては、2月26日（水）19時30分からオンラインを利用した説明会を行います。	

【編集後記】昨年の正月は能登半島地震に見舞われ、ただ茫然とするだけでした。14NJに派遣隊の副長として珠洲市を訪れましたが、帰ってから準備不足を反省したことを思い出し、今回の地震は改めて自分の「そなえよつねに」が試されたのだと感じました。被災された方々の1日も早い復興を祈念し、スカウトとして何ができるかを考え、準備を怠らないよう努めたいと思います。（富山第16団 開田）